

平成22年度事業の詳細

1. 地域活動団体に対する育成・支援事業

(1) 都道府県協議会への支援

① 都道府県大会等の開催

	都道府県	名称(テーマ)	内容	開催時期	開催場所	参加数
1	北海道	地域活動道民大会	○表彰式(北海道社会貢献賞、地域活動功労賞) ○講演「出あい・ふれあい・労りあい」 講師:菅井貴子(フリーキャスター・気象予報士)	10月26日	札幌市 「ポールスター札幌」	128
2	青森	第6回 北41° 未来・ふるさとづくりフォーラム	○青森県コミュニティ運動推進協会顕彰の表彰 ○活動事例発表 ・劇団笑劇「中高年の交流及び演劇の公演」 村田昭子(劇団笑劇団長) ○基調講演「福祉から見た安心のまちづくり」 講師:渡邊洋一(青森県立保健大学教授) ○パネルディスカッション「安心安全のまちづくりを語ろう」 パネリスト:荒谷政志(NPO法人つがる夢庭志仙会理事長) 中村智子(中村音楽療法研究所代表) 小川千恵(NPO法人むつ下北子育て支援ネットワーク ひるば理事長) 福原仁一(ふるプラ機構副理事長) コーディネーター:中村公英(ふるプラ機構理事) ○参加者を交えたグループディスカッション	11月6日	青森市 「ホテル青森」	60
3	岩手	あしたの日本を創る岩手県大会(平泉大会)	○基調講演「みんなでつくるまちづくりのカタチ」 大滝 聡(コミュニティ・デザイナー) ○パネルディスカッション「地域づくりを担う人と人とのパートナーシップ」 コーディネーター:若菜千穂(NPO法人いわて地域づくり支援センター 常務理事) パネリスト:松田和子(上一日市おかみさんお会会長) 小原 宏(谷内第二行政区自治会会長) 遠藤セツ子(中尊寺通りまちなみ整備検討会メンバー) コメンテーター:大滝 聡	11月10日	平泉町 平泉文化遺産センター	130
4	宮城	宮城県生活学校運動大会	○基調講演 「子育て支援、今、私にできること」 講師:江刺義夫(宮城県PTA連合会事務局長) ○分科会 子育て支援時に活用できる技法を学ぶ実技分科会を実施 ・カレンダーでつくるトートバック ・折り紙でつくる万華鏡 ・折り紙でつくるアクロバットホース ・新聞紙でつくるトートバック ・チラシでつくる小物入れ ・牛乳パックでつくるペン立て、紙とんぼ	1月26日	仙台市 「東京エレクトロンホール宮城」	130
5	秋田	豊かなふるさとづくりフォーラム秋田県大会	大会テーマ「これからの地域づくりと花づくり」 ○太田地域花いっぱいコンクール表彰式 ○講演「これからの地域づくりについて」 講師:あゆかわのぼる(詩人・エッセイスト) ○パネルディスカッション コーディネーター:あゆかわのぼる パネリスト:後藤光三(花づくり指導者) 稲川喜美雄(コイケ種苗店) 菅原賢一(県南NPOセンター)	8月28日	大仙市太田町 「太田町農村環境改善センター」	50
6	山形	山形県生活学校大会	(第1回) ○基調講演「高齢期に向かっの健康」 講師:渡辺祐子(村山保健所地域保健予防課) (第2回) ○講演1「庄内町の地産地消」 講師:穂積一良(まごころなっばの会会長) ○講演2「学校給食の現状」 講師:小松亜希子(学校栄養士)	(第1回) 5月25日 (第2回) 10月26日	(第1回) 山形市 「山形市消費生活センター」 (第2回) 庄内町 「庄内町余目第二公民館」	(第1回) 40 (第2回) 50

	都道府県	名称(テーマ)	内容	開催時期	開催場所	参加数
7	栃木	栃木県コミュニティ・生活学校運動栃木県大会	「みんなの居場所づくり」 ○対談 対談者:丸尾多重子(NPO法人つどい場さくらちゃん理事長) 飯島恵子(NPO法人ゆいの里理事長) ○パネルディスカッション コーディネーター:三橋伸夫(宇都宮大学教授) パネラー: 竹田あや子(いどばたカフェ・好縁代表) 船津 祥(さわやか福祉財団さわやかインストラクター) 堀内陽子(NPO法人ゆいの里なじみ庵主任コーディネーター)	10月15日	宇都宮市 「栃木県庁研修館」	90
8	群馬	ふるさとづくり運動群馬県大会	○講演「あなたの自治会は民主的か(古代ギリシャに学ぶデモクラシーのエッセンス)」 講師:名和賢美(高崎経済大学准教授) ○事例発表 ・「市民と一緒にボカシをつくる」 宮本生活学校 若旅京子 ・子育て支援「親子で遊ぼう会」 矢中生活学校 福王子理恵子	11月30日	前橋市 「ぐんま男女共同参画センター」	61
9	埼玉	生活学校運動県大会	○講演「認知症になりやすい生活・なりにくい生活および介護の世話にならない食事と健康」 講師:大久保幸子(NPO法人日本成人病予防協会、管理栄養士)	6月25日	さいたま市 「県民健康センター」	42
10	千葉	船橋市環境フェア出展	「みつけよう!あなたができるエコ活動」 生活学校テーマ「食と環境」 ・食べ残しが多い現在の日本の現状を鑑み、私たちが必要とするカロリー(1600カロリー)とする献立を6種調理し、市民に啓蒙活動する。 ・三校によるパネル展示 ・アクリルタワシの実践指導と来客者への贈与	6月5日	船橋市中央公民館	生活学校86名、市民参加数1830名
11	東京	東京のあすを創る運動推進大会	○表彰式 ○講演「無縁社会の中で」 講師:池田誠一(NHK報道局社会部) ○パネルディスカッション「無縁社会～地域の中でどう支えあっているか～」 パネリスト:池田誠一(NHK報道局社会部) 山田理恵子(墨田区文花高齢者みまもり相談室相談員) 小竹嘉子(渋谷区初台生活学校) 来栖明美(府中市西部地区生活会議)	3月2日	新宿区 「都庁第1庁舎」	301
12	神奈川	かながわのあすを築く生活運動協議会大会	各グループの事業状況の報告と情報交換	11月23日	蒔田公園	100
13	新潟	新潟県ふるさとづくり西蒲区大会	○表彰式 6団体 ○実践発表 金澤友一(水沢伝統芸能保存会) ○基調講演「災害に強いまちづくりをめざして～中越沖地震の教訓から～」 講師:関矢 登(柏崎市松美会会長) ○分科会 ①私たちのまちは災害に強いのか 中之口地区コミュニティ協議会、巻地区まちづくり協議会 ②地域の歴史・文化の再発見～ふれあえるまちづくり～ 岩室地域コミュニティ協議会、西川地域コミュニティ協議会 峰岡地区コミュニティ協議会 ③世代間交流が地域を育てる 角田地区コミュニティ協議会、潟東地域コミュニティ協議会 松野尾地域コミュニティ協議会 ④安心・安全、そのうえ楽しいシルバーライフを! 漆山地域コミュニティ協議会、巻生活学校 ○交歓・交流会	10月23日	新潟市西蒲区 「巻文化会館・巻地区公民館」	255

	都道府県	名称(テーマ)	内容	開催時期	開催場所	参加数
14	富山	あすのふるさと・富山県を創る合同研究集会	<p>○提案発表</p> <p>①「藩政時代からの伝承風習行事～奇習荒木ねつおくり祭～」 西村 潔(南砺市吉江生活会議)</p> <p>②「食生活からのエコライフ～みんなで生ごみを減らそう～」</p> <p>○講演「富山県の野生鳥獣の現状」 間宮寿頼(富山県自然博物館ねいの里主任)</p> <p>○富山県ふるさとづくり賞表彰 ・受賞3団体 ・受賞団体実践発表 ・座談会</p>	11月12日	富山市 「富山県教育文化会館」	56
15	石川	石川県生活学校大会	<p>みんなで創ろう安全・安心な生活 ～消費者被害にあわないために～</p> <p>○講演(県連結成40周年記念講演) 「これからの地域活動」 講師:あしたの日本を創る協会理事長 榊 誠</p> <p>○対話集会「消費者被害にあわないために」 調査活動報告:今井政子、浦 澄子(県連絡会地区推進員) コーディネーター:林 貴江(石川県新生活運動協議会事務局長) パネリスト:近田真理子(石川県消費生活支援センター所長) 清水克弥(石川県県民文化局県民生活課課長) 高田晴雄(石川県警察本部犯罪抑止対策室室長) 相馬春美(石川県生活学校連絡会会長)</p>	11月25日	金沢市 「石川県女性センター」	150
16	福井	元気なふるさとづくり県民のつどい	<p>○表彰</p> <p>○活動発表(平成22年度あしたのまち・くらしづくり活動賞受賞団体) ・清明にわか劇団「地元を舞台にした創作劇」 ・岡保まちづくり委員会委員長「ひとづくり まちづくり 夢づくり」 ・NPO法人森のエネルギーフォーラム「都市と農山村の交流活動や地域資源を活かした遊作」</p> <p>○講演「くんまの新たな挑戦」 ・大平展子(NPO法人夢未来くんま副理事長)</p>	11月27日	福井市 「福井県生活学習館多目的ホール」	199
17	山梨	あしたの山梨を創るくらし・まちづくり推進フォーラム	<p>第1部</p> <p>○講演「新たな公共・協働による地域活動の推進」 講師:桜田 清(NPO法人協働で素敵にまちづくり南アルプス共和国)</p> <p>○ワークショップ</p> <p>①地域に根ざした食育推進 「まち・むらの食やくらしの知恵を次代に繋げよう」</p> <p>②エコライフ県民活動の今後の進め方 「未来の世代に、より良い環境を残すための実践活動」</p> <p>③活かそう、地域の底力 「新しい公共」と地域課題の解決を目指して</p> <p>○全体会 ワークショップ報告と質疑応答</p>	3月11日	甲府市 「ホテルクラウンパレス・甲府」	62
18	岐阜	ふるさとづくり運動岐阜県大会	<p>○講演「水と私たちのくらしのつながり」 講師:浅野智恵美(環境カウンセラー)</p> <p>○活動報告 「生活排水・飲料水意識調査から」 発表者:野村昭子(岐阜県生活学校連絡協議会副会長)</p> <p>○グループ討議 3分散会場 各7グループ</p> <p>①生活排水浄化について ②水辺環境について</p>	10月29日	岐阜市 「県民文化ホール未来会館」	200

	都道府県	名称(テーマ)	内容	開催時期	開催場所	参加数
19	静岡県	コミュニティフォーラム2011	取り戻そう、人と人とのつながりを ○表彰式 平成22年度コミュニティ活動賞 ○講演「人のつながり、ふるさとってすばらしい」 講師:ダニエル・カール(タレント) ○パネルディスカッション「無縁社会の中で、人と人の絆を取り戻すには」 ・パネリスト 平田 厚(静岡福祉文化実践研究所所長) 丸山 嘉一(牧之原市商工会青年部企画委員長) 阿部眞一(佐久市岩村田本町商店街振興組合代表理事) 二俣七七男(菊川市平川地区コミュニティ協議会全事務長) ・コーディネーター 望月誠一郎(地域デザイン研究所長)	2月17日	菊川市 「菊川文化会館“アエル”大ホール」	450
20	愛知県	愛知県生活学校大会	みんなで考えよう！食と暮らしの知恵を ○講演「食～来し方 行く末」 講師:飯尾 歩(中日新聞社論説委員) ○パネルディスカッション「食に関わるテーマ活動」 ・県中部ブロック 服部富久美(瀬戸消費生活学校) ・西三河ブロック 杉浦ひろ子(安城市エプロン会) ・東三河ブロック 小野孝子(豊川市東部生活学校) ・コーディネーター 飯尾 歩	11月18日	豊橋市 「豊橋市公会堂」	450
21	三重県	三重県新生活運動推進大会	「くらしと環境」 ○講演「エネルギーと環境について」 講師:杉崎 隆(中部電力三重支店総務部広報グループ) ○パネルディスカッション「くらしの無駄をなくそう」 白井孝子(津東高校教諭) 杉崎 隆(中部電力) 佐脇芳子(三重県新生活運動協議会顧問) 司会:伊藤幸子(三重県新生活運動協議会会長)	9月28日	津市 「ポルタ久居」	50
22	滋賀県	①研修会 ②視察研修会 ③容器包装ごみの削減宣言集会	①講演「生涯現役」 講師:元大津市役所環境部政策監 晴嵐支所長 ②視察研修会 関西電力 美浜原子力発電所 ③講演「もったいない」からみえてくること 講師:神田 紫 事例発表 ・堀切保穂(イオンリテール株式会社西日本総務部) ・神門 浩(生活協同組合コープしが事務局長) ・坪井 洋(そごう・西武大津店総務部) ・西塚哲夫(平和堂環境推進室)	①6月15日 ②10月22日 ③11月22日	①草津市 「市民交流プラザ」 ②福井県美浜市 ③大津市 「滋賀県庁東館」	①63 ②52 ③200名(うち生活学校37名)
23	京都府	京都府生活学校・生活会議連絡協議会研究大会	○講演「服育～身近な生活から見直そう～」 長屋 博久(有限会社村田堂取締役) ○実践発表 ①「地域食材を生かした食品づくり」 京都府立須知高等学校食品科学課 ②「生活学校・生活会議が地域に果たす役割」 ・「出前講座 環境学習」～廃油から石けんづくり～ 長岡京市生活学校 ・「地域で子育て」 質美生活学校・生活会議 ・「我が家の減塩手作り味噌」 舞鶴生活学校 ・「地域に発信 環境問題」 京田辺生活学校	11月6日	「和知ふれあいセンター」	
24	大阪府	大阪府生活学校大会	○基調講演「充実した生活を送るために脳を鍛える秘訣」 講師:中村裕美子(大阪府立大学看護学部教授) 平松瑞子(大阪府立大学看護学部准教授)	2月7日	大阪市 「大阪府消費生活センター」	65

	都道府県	名称(テーマ)	内容	開催時期	開催場所	参加数
25	兵庫	①あすの兵庫を創る生活運動研究集会 ②あすの兵庫を創る生活運動大会	①あすの兵庫を創る生活運動研究集会 「仲間づくりとコミュニケーション」 ・稲岡真理子(ライフマネジメント研究所所長) ②あすの兵庫を創る生活運動大会 ・表彰式 ・基調講演「地域の絆を大切にしよう」 講師:栗木 剛(mottoひょうご事務局長) ・分散会「地域コミュニティを考える」 ・「地域の連帯感」 ・「安心安全な地域」 ・「行政との連携」 ・全体会(各分散会報告、まとめ)	①5月31日 ②11月29日	①神戸市 「兵庫県立男女共同参画セミナー」 ②神戸市 「兵庫県民会館」	①60 ②90
26	奈良	生活学校運動奈良県大会	○講演「市民と社会で進めよう、25%削減のために」 講師:清水順子(サークルおてんとさん代表) ○事例発表「私たちが何を選ぶかによって未来が変わります」 講師:栗岡理子(環境カウンセラー)	12月3日	奈良市 「奈良県文化会館」	120
27	岡山	生活学校・生活会議推進協議会研究集会	○講演「地域力を生かして住み良い社会を」 講師:木下美恵子(越前海士里の環境ネットワーク会長) ○分科会 ①「地域力を生かして子育て支援を」 助言者:佐藤正明(岡山県保健福祉部こども未来課) ②「地域力を生かして安全安心な社会を」 助言者:木下美恵子(越前海士里の環境ネットワーク会長)	11月1日	岡山市 「岡山衛生会館」	65
28	山口	山口県生活学校・生活会議運動推進大会	○講演「地球時代の主役をサポート(ネットワークづくり)」 講師:森 友愛(山口県国際交流協会国際協力推進員) ○研修会 活動報告と情報交換会 ○協議会 平成23年度の活動方針の企画立案の協議	3月15日	山口市 「山口県健康づくりセンター」	10
29	徳島	徳島県生活学校運動大会	○講演「生活学校の現状と課題について」 講師:松田宣子(國學院大學講師)	7月22日	徳島市 「沖洲マリンターミナル」	32
30	福岡	福岡県生活学校連絡協議会第1回総会	○講演「元気なまちづくりは足元から」 講師:中島玲子(元あすばる館長)	6月15日	福岡市 「福岡県合同庁舎」	7生活学校の代表者とメンバー
31	大分	生活学校運動研究大会	○講演「食品の安全性について」 講師:井上昭二(大分県生活環境部食品安全・衛生課長) ○対話集会「県産食品の品質向上をめざして」 パネリスト: 事業所代表:三ヶ尻幸治((株)トキハインダストリー食品商品部) 行政代表:渡辺哲也(大分県農林水産部おおいブランド推進課長) 生産加工代表:小野今朝則(やすらぎ交差点・豊後大野市) 消費者代表:田中真理子(挾間生活学校代表) コーディネーター: 小野ひさえ(大分県生活学校運動推進協議会会長) 講評: 甲斐良治(大分県教育委員会社会教育課課長補佐)	8月23日	大分市 「大分県庁本館正庁ホール」	150
32	鹿児島	鹿児島県生活学校運動大会	○講演 「認知症の理解と地域支援」 講師:水流涼子(認知症の人と家族の会 鹿児島支部代表) ○研究協議 「レジ袋削減の一步前進を願って・・・」 登壇者: ・山口善央(志布志市市民環境課主幹兼環境政策係長) ・西迫雅子(鹿児島県生活学校運動連絡会会長) ・田中セツ子(霧島市生活学校運営委員長) ・古木照代(市来生活学校) 司会: ・長山ミエ子(鹿児島県生活学校運動連絡会副会長)	7月5日	鹿児島市 「鹿児島市民文化ホール市民ホール」	230

②新規開設の生活学校・生活会議の活動支援

・新規生活学校

	都道府県名	生活学校名	活動テーマ	活動内容
1	宮城	天神沢生活学校	安心して生活できる地域づくりをめざして	①福祉や環境問題についての学習 ②古紙・古布を使った小物作りと一人暮らし高齢者へのプレゼント ③子どもたちを地域で見守る活動
2	新潟	小国生活学校	地産地消	○小国山野草展 ○折り紙アート展 ○魔女の直送便<野菜直販> ○花ロード(サルビア)管理 ○協同野菜畑の管理 ○研修(月1回)
3	滋賀	かいつぶり生活学校	環境にやさしい買い物・健康づくり	1. 健康づくり・仲間づくり 毎月2回健康づくりのために公民館で、ウォーキングやストレッチ、ニュースポーツなどレクリエーションを中心に簡単な運動をする 2. 地球にやさしい環境 県の生活学校の活動方針に従い、レジ袋の削減やマイバッグ持参運動への参加、店頭キャンペーンに参加する。 3. 慣れたら、独自の活動も考えていきたい。
4	兵庫	井吹生活学校	安心して暮らせる社会をめざして	・「井吹ふくし銀行」(時間預託制度)の運営 生活学校を通じて全国に広がると、ワーカー活動を各銀行からヘルパー送金でき、遠く離れても親への支援をすることができる ・ふくし避難訓練の実施
5	兵庫	Heart Mam(ハートママ)生活学校	子育て支援、家族支援	・乳児と親のひろば「Babyガーデン」の運営 ・一時預かり保育事業(出張保育を含む) ・子育て講座や支援者のスキルアップ講座の企画、開催 ・親子遊びや絵本の読み聞かせなど ・月1回ハートママ会議を開き、子育て支援者として何ができるかテーマを決めて話し合う。(子育て支援の実際、現代の母親の心理、3歳児神話の崩壊)
6	福岡	学びあい生活学校	青少年の育成活動	自然体験活動 ・説明会 ・牛頸川水生生物調査(春日市春日公園) ・キャンプ体験&干潟観察・干潟体験 ・化石発掘調査 ・秘密基地づくり体験 ・まとめの会
7	佐賀	錦波生活学校	地球温暖化防止をめざす活動	・食用廃油回収活動 ・マイバッグ運動 ・有価ごみ回収の協力 ・環境学習会ー小学校生徒との交流学习、ボカシ作り当 ・運動グラウンドの清掃、トイレ清掃(月数回) ・地区行事の継承、地区ふれあい活動への参加・協力
8	熊本	上松山生活学校	環境問題と子育て支援	1. 環境を守るための活動 ・水を守る運動(アクリルたわしの活用) ・レジ袋減らし隊活動(マイバッグの活用) 2. 子育て支援への協力 ・夏休み、冬休みラジオ体操の実施、子どもを見守る活動 ・夏休み、冬休み交通安全紙芝居の実演など 3. 安全な地域にするための活動 ・通学路や街灯等の点検活動
9	熊本	玉名郡南関町生活学校	環境、福祉を考えた活動	・マイバッグを活用し、レジ袋を減らす活動 ・資源リサイクル活動 ・各小学校への出前講習(廃油石けんの作り方)

・新規生活会議

	都道府 県名	生活学校名	活動テーマ	活動内容
1	東京	フリー談話室 さぼう	くつろぎの場・ フリー談話室 の開放	毎週金土日10時～15時まで「フリー談話室さぼう」を開放。セルフサービス方式の飲み物の準備、利用者の手助け、後片付けなど談話室の運営、管理を行う。「いっしょにパンをつくろう」「いっしょにお菓子をつくろう」などのプログラムを企画実施する。
2	東京	ふれあい農園	農業体験を通 して食育・3世 代交流を推進	・廃校になった小学校の花壇・畑等を活用して野菜を栽培、子ども・親・高齢者の交流を進める ・農家の方の指導も受けて、肥培管理を本格的に行う。
3	東京	ローズマリー	ハーブ・ローズ マリーを育てよ う	・ローズマリーの木を挿し木で増やして管理。作業終了後ハーブティーを飲みながら、薬効などについて学習会をする。ハーブを使ってパン教室、料理教室、クラフト教室を参加者を募って開催。
4	東京	みんなのサロ ン	介護予防の健 康体操と軽食 をみんなで作 って食べる	・介護予防のリーダー研修を受けた人が、民生委員の協力を得て、学校統合で空き教室を使い、地域の高齢者を集めて健康体操、軽食づくりを実施。
5	東京	プレイセンター なかまっち	子育て支援	・小平市仲町公民館を拠点に、月2回親子遊びのセッション、月1回親の学習会を開催、子育てに専念する母親を支援する。
6	東京	MeC西東京	西東京にはた るを・ふるさ との清流の復 活	・石神井川の清掃活動を毎月1回実施。約50年前にはホテルの名所として有名であった石神井川の東伏見地域に再びホテルを呼び戻すための清掃活動を行い、地元住民の意識啓発を図った。
7	東京	西原自然公園 を育成する会	雑木林の若返 り	西原自然公園内の雑木林の管理。植樹苗の下草刈り、間伐、育苗、堆肥作り等の作業を行う。
8	東京	ゆるり	食を通して地 域の皆とともに 考え、改善、進 歩をめざす	料理教室を実施。地域の産物や食生活の特徴を踏まえて、様々な年代の方がともに集う。子どもに正しい器具の使い方、調理の仕方を教え学びあえることができた。男性の食に対する興味を増すことができた。
9	東京	環境サポー ターはちどりの 会	環境学習の実 施等	・講演、施設見学会 ・協力事業 ・環境関連イベントへの参加
10	東京	大正琴同好会 「いずみ」	地域貢献ボラ ンティア	・老人ホームの慰問 ・地域のイベント参加 ・市の文化祭参加

③既存の生活学校・生活会議の活動支援
・生活学校

	都道府 県名	団体名	活動テーマ	活動内容
1	秋田	子育て応援Se ed	よりよい親子関 係を育むため に必要な支援 を多面的に行 う	①親子の居場所づくり ②子育て学習会の開催 ③子育て情報の提供 ④子どもの健全育成支援 ⑤育児サポート「ハローキッズ」の開設 ⑥コミュニティサロン「クローバー」の運営
2	秋田	上町すみれ会	いきいきとした 社会づくり活 動	①フラワーアレンジメント講座(月1回)開催 ②能代西高校園芸部とまちなか美化活動の実施 ③常盤地区ときめき日曜朝市に参加 ④上町自主防災訓練、被災食講習会開催 ⑤「のしろまち灯り」イベントに参加 ⑥「能代宇宙イベント」に参加し大学生と交流
3	秋田	いろりの会	どんぐり文庫の お話会へ行こ う	地域会館に移動文庫「どんぐり文庫」を開設 ①学区内幼稚園・小学校での定期的な読み聞かせ活動の実施 ②毎月第4土曜日に移動文庫「どんぐり文庫」を開設し、読み聞かせ活動を実施した ③クリスマス会を開催し、読み聞かせやジョイントコンサートで地域交流を図った ④会員研修として「読み聞かせ講座」を開催し、多くの参加者を得た。 ⑤読書啓蒙や情報伝達を目的とした広報誌を毎月発行し、町内幼稚園、小学校に配布した。
4	秋田	鹿渡生活学校	環境美化 リサイクル活動 の展開	町の美化活動 ・4～5年前より町内会と連携し、春と秋の2回、商店街や駅前での清掃と花の苗を植える美化活動を展開。 エコ勉強会 ・日頃の活動から、エコ活動を取り入れるための勉強会を開催 ・昨年度同様、レジ袋削減運動の呼びかけを商店街で開催
5	秋田	多胎児サークル ひなっこクラブ	多胎児を持つ 母親同士の交 流・情報交換	①育児講座の開催 ②育児の悩み事相談と情報交換会の開催 ③アロマセラピー講座の開催 ④クリスマス会の開催 ⑤フリーマーケットの開催 ⑥会報の発行(年6回) ⑦多胎関連図書の貸し出し
6	茨城	茨城県生活学 校連絡会	食と農を通じた エコライフ活動	○生活学校運動大会の開催 ・「食と農を通じたエコライフ運動」をテーマに、地元の食材を使い切ることを目指したエコクッキングや、規格外食材の積極的活用等に向けた基調講演や実践活動発表を実施した。 ○エコライフ運動の普及啓発 ・各種イベントの際に積極的にブースを出展し、エコライフ運動の普及に努めた。
7	群馬	矢中生活学校	地球環境にや さしく	・子育て支援一月1回、子どもの居場所づくり ・花壇作り ・廃油回収 ・郷土の伝統食
8	群馬	九合生活学校	資源の再利 用、食生活の 改善	・不用品を再利用、廃棄物をリサイクルした作品を展示販売 ・食生活を見直す活動
9	群馬	無限の会	独居老人の昼 食・配食サー ビス	・市内の一人暮らしの高齢者に地場産の食材を使った弁当を作りお届けする。また、他の生活学校と協力して「ふれあい昼食会」も年1回行う。
10	群馬	城山生活学校	地域の美化と 親睦	・学校周囲道路の花壇作り ・公園の清掃植栽 ・味噌づくり、こんにゃくづくり ・廃油回収、リサイクルバザーに参加

	都道府 県名	団体名	活動テーマ	活動内容
11	群馬	十五区生活学 校	環境にやさし いくらし	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動 ・4R運動実践 ・公民館ふれあい活動
12	群馬	さぎいし生活 学校	リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・ボカシによるごみたい肥化学習会 ・食用廃油からせっけん、ろうそくづくり
13	群馬	みやもと生活 学校	生活環境を考 える	<ul style="list-style-type: none"> ○限りある自然を大切に ・市民とともに生ごみの減量活動 ・食廃油の回収。 ○地産地消の推進 ・農家で作物の農薬、肥料等の栽培法を経験 ・地場産の梅の研究 ○社会奉仕活動 ・がん患者に送るタオル帽子づくり
14	群馬	幕岩の会	環境美化活動 循環型社会の 形成	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動 ・廃食用油の回収 ・独居老人とのふれあい昼食会 ・サイクリング道路の除草作業
15	群馬	駒形地区生活 学校	地域の親睦	<ul style="list-style-type: none"> ・寺子屋活動 ・廃油回収 ・老人会招待の食事会 ・花壇作り
16	群馬	宮前生活学校	花・野菜づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニケーションの場づくり ・仲間とのふれあい活動 ・季節ごとにできる作物づくりを研究し、地域の人に楽しんでもらう ・代替地の草取りに困っている方の土地を借り受け、作物を作りはじめた ・無農薬でとれた作物を秋に食事会に使用し、次の活動を話し合う。またできた作物を店の半値以下で販売し、その売り上げで次の苗、種の資金にする。
17	千葉	船橋市生活学 校運動推進協 議会	子育て教室	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てアドバイザーを招いて「親子で遊んで学びましょう！」をテーマに、0～3歳児とその親が体を動かす中で子育ての方法を学んでいた。いただいた。 ・郷土食研修会の実施
18	富山	富山生活学校	身近な生活課 題の理解と実 践	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の実践に関する懇談会実施 ・消費生活展に出展 ・環境フェア2010に出展 ・消費者生活講座 ・国際交流会への参加
19	富山	立山山麓生活 学校	地産地消の実 践	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産の材料を使ったおやきづくりと販売 ・県の特産品としてPR
20	富山	相ノ木生活学 校	地元小学校と のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンの開催。地元行政・団体・学校等で連携を図りながら。 ・親子を対象にした料理教室の開催 ・地域の里山への不法投棄防止啓発活動
21	富山	滑川中央生活 学校	環境保全活動 を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・3R推進運動、省エネ省資源活動、快適消費生活の推進 ・環境問題研修会の開催、エコライフのPR実践 ・環境にやさしい食育活動 ・夏休み学童保育、放課後学童保育で子育て支援
22	富山	山室生活学校	省資源省エネ 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油せっけん、リフォーム教室を通して環境問題を考える。子どもたちの参加が多くなった。 ・親子工作教室、ふれあいお菓子づくり
23	富山	立山中央生活 学校	地域活動の活 性化	<ul style="list-style-type: none"> ・3R活動の実践 ・おばあちゃんとの料理教室の開催

	都道府 県名	団体名	活動テーマ	活動内容
24	富山	小矢部市紅梅 生活学校	循環型社会の 運動推進	<ul style="list-style-type: none"> ・資源のリサイクル活動 ・国道沿いのゴミ拾い環境美化活動 ・保育所で生け花づくり ・地産地消推進をテーマに講演会を実施
25	富山	富山みのり生 活学校	子育て支援と 環境問題	・小学校の総合学習の時間に、農作業体験と食育講座の実施。自然農法を実施する。
26	富山	生活希望塾	環境美化活動 循環型社会の 形成	・地域の環境美化活動。花植えと管理。
27	滋賀	野洲生活学校	食と環境問題	・健康料理教室の開催、環境学習活動
28	滋賀	おおがや生活 学校	心身の健康と 住み良いまち づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの運動教室の実施。年15回。 ・児童の下校時の安全見回り活動
29	滋賀	なぎさ生活学 校	地域の子ども たちの力を伸 ばそう	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で母子のホットタイムを開催。読み聞かせ、紙芝居、自由遊びの時間を持つ。 ・七夕まつり、昔あそび、音楽会の開催
30	鳥取	巖生活学校	地場農産物を 使った料理教 室	・子育てサークルを中心に地場農産物を使った料理教室を開催。食事をしながらお母さんたちの意見を聞く。
31	徳島	佐古生活学校	省資源省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙・アルミ缶の回収(毎月)。町内全域の活動 ・ぼかし、廃油石けんづくり
32	徳島	三加茂生活学 校	省資源省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化・ごみ減量化。国道沿いの美化活動。 ・マイバッグ持参運動 ・スクールガードの実践
33	徳島	土成生活学校	環境美化・子 育て支援・老 人介護施設慰 問	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館などの美化活動 ・子育て支援－昔遊びなど ・老人介護施設への慰問－地域にあるグループホームで入居されている方を慰問
34	徳島	森山オレンジ 生活学校	環境・食育・消 費生活	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験活動を子どもたちと実施 ・レジ袋削減運動
35	徳島	市場コスモス 生活学校	環境美化、子 どもたちとのふ れあい	<ul style="list-style-type: none"> ①年間を通してのゴミ拾い、花づくり ②地域の伝統芸能の伝承
36	徳島	阿南ふれあい 生活学校	環境啓発	<ul style="list-style-type: none"> ①環境カレンダーの発行 ②包装ごみ減量研修 ③毎月資源回収日を設けて回収
37	徳島	池田生活学校	青少年健全育 成・環境活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内パトロールの実施 ・幼児誘拐防止劇の公演 ・マイバッグ運動 ・リフォーム教室
38	徳島	川島楓生活学 校	花づくり、ごみ 減量	<ul style="list-style-type: none"> ・花づくり活動 ・ごみ減量活動 ・マイバッグ運動(毎月) ・料理活動(毎月)
39	熊本	八代市生活学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化 防止 ・消費問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境フェスタにおいて、水環境アンケートの実施 ・アクリルたわし等を市民に無料配布 ・水質調査
40	熊本	いきいき益城	環境	・3Rに重点を置いて、エコバッグづくり活動に取り組む
41	熊本	玉名市生活学 校	環境保全活動 を推進	・小学生への環境出前学習の実施

	都道府 県名	団体名	活動テーマ	活動内容
42	熊本	宇土市生活学 校	住み良い環境 づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然環境(池)の清掃美化活動 ・水環境
40	宮崎	都北ブロック	地産地消と食 の安全安心を 求めています	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「食の安心安全」を開催 ・シンポジウム「地産地消と食の安全安心を求めています」を開催 ①地産地消のメリット、②食育の重要性、③偏食の弊害、④添加物の問題
41	宮崎	県西ブロック	ごみの減量啓 発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量レジ袋削減等の啓発活動を実施
42	宮崎	県北ブロック	レジ袋削減と マイバッグ運 動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①レジ袋アンケート調査実施、環境紙芝居出前講座実施 ②調査結果報告と対話集会の実施 ③生活学校運動研究集会実施 ④郷土料理と地産地消の推進

	都道府 県名	団体名	活動テーマ	活動内容
・生活会議				
	都道府 県名	団体名	活動テーマ	活動内容
1	秋田	田代ふるさと 創り世話人会	ふるさと創りの つどい	①ふるさとづくりリーダー研修会の開催 ②全県地域づくり研修会への参加 ③全県地域づくり団体グランドゴルフの開催 ④「田代ふるさと創りのつどい」の開催
2	秋田	五城目ふるさと を語る同友会	愛町心を育み 活性化に寄与 する	①県外研修会の実施 ②グランドゴルフ交流会の開催 ③ふるさとを考える研修会の開催(講演会・演奏会)
3	秋田	手這坂活用研 究会	ボランティアの 手によるかや ぶき民家の再 生	①民家の再生活動 ②耕作放棄地の整備、桃の苗木の植樹 ③季節のイベント開催ー春の桃の花見、雪灯籠の冬祭り ④会報の発行ー手這坂桃源郷情報 地権者・家主の意向を確認して、町と集落再生のための協議の場を持った。その結果、町では関係団体や地域とも協力し利活用について考えることになった。
4	秋田	大潟村壮悠会	こども体験型 の地域支援	・地域内の美化活動 ・こども体験事業の開催 ・冬季ふるさと祭りの開催 ・実行委員会の開催
5	富山	下新本町生活 会議	地域活動の推 進の輪	・地域内の環境美化 ・地域行事に参加・協力 ・地域住民への声掛け
6	富山	氷見南大町生 活会議	氷見椿を守り 育てよう	・椿群落の新たな発掘、維持管理、植樹等を行い、椿の里づくりに取り組む
7	富山	吉江生活会議	地域文化の醸 成と地域の健 康	・資源回収・クリーン作戦の実施 ・文化祭 ・住民運動会の実施 ・地域行事の伝承
8	富山	射水黒河生活 会議	黒河夜高祭り の保存と伝承	・黒河夜高祭りの保存と伝承活動。児童クラブ育成会、町内会と連携して進める
9	富山	大家庄生活會 議	和太鼓の伝統 継承	・小中学生への和太鼓の伝統を継承する活動
10	富山	山田生活会議	新しいむら・ま ちづくりに挑戦	・地域シンポジウムを開催。農業問題や地域活性化の課題を取り上げている。

2. 地域活動に関する情報の収集及び提供事業

(1) 自治会町内会情報誌「まち むら」の発行

規 格	号 数	内 容
季刊	110	グラビア お芝居で人を楽しませ自分も楽しむ／千葉県柏市 だいこん座 ほか ルポ 地域で運営する預かり保育所“うしおっ子ランド”／島根県雲南市 海潮地区振興会 ほか
B5判	111	グラビア みんなで楽しむ城下町「ディスカバー・こもろ」／長野県小諸市 NPO法人小諸町並み研究会 ほか ルポ 下水道整備も温泉発掘も自分たちで作業しました！／岩手県二戸市 浄門の里づくり協議会 ほか
64頁	112	グラビア 人と人とのふれあい 体験イベントで滞留型の交流／北海道黒松内町 ブナ里ツーリズムウィークエンド体験イベント ほか ルポ 地域の絆で高齢者が安心して暮らせる地域づくり／神奈川県横浜市栄区 NPO法人お互いさまねっと公田町団地 ほか
各50,000部	113	グラビア 都市部に残された湿地環境を守るために／千葉県市川市 NPO法人行徳野鳥観察舎友の会 ほか ルポ 自治会でNPO法人を設立し、高齢者の生活支援活動を推進／埼玉県上尾市 尾山台団地自治会・NPO法人ふれあいねっと ほか

(2) 身近な生活課題の解決をめざして「私たちの生活学校」の発行

規 格	号 数	内 容
A4判 16頁 各2,000部	180	(特集)生活学校ルネサンス
	181	(特集)ごみゼロのまちをめざして
	182	(特集)高齢者が楽しく暮らせるまち
	183	(特集)平成22年度あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム資料結果報告
	184	(特集)平成22年度あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム結果報告
	185	(特集)生活学校 各地の活動

6. 国民の祝日に関する普及・啓発事業

「国民の祝日と私たち」の発行

規 格	内 容
季刊	海の日 ほか
A4判	体育の日 ほか

1枚	元旦 ほか
各50,000枚	子どもの日 ほか

3. あしたのまち・くらしづくり活動賞の実施

(1) 活動団体の顕彰

① あしたのまち・くらしづくり活動賞中央審査審査委員名簿(敬称略)

委員 (◎委員長)	役職
江上 渉	立教大学社会学部教授
岡本 多喜子	明治学院大学社会学部教授
栗原 博	日本商工会議所流通・地域振興部長
柴山 直子	有限会社柴山建築研究所代表取締役
曾根原 久司	特定非営利活動法人えがおつなげて代表理事
日高 昭夫	山梨学院大学法学部長
◎内藤 辰美	山形大学名誉教授
山根 誠	特定非営利活動法人親がめ理事長
盛 浩二	読売新聞東京本社編集局地方部長
吉開 真一郎	日本放送協会編成局計画管理部専任部長
幸田 徳之	内閣府大臣官房総務課長
濱田 厚史	総務省地域力創造グループ地域振興室長
榊 誠	(公財)あしたの日本を創る協会理事長

② 審査委員会の開催

開催日	名称 開催場所	内容	出席者	
			委員	協会
10月28日	第1回中央審査委員会 東京都新宿区「日本青年館3階「302」	・入賞候補(現地審査対象団体)の決定 ・振興奨励賞の決定	内藤 辰美 他12名	新井 政二 他3名
1月6日	第1回中央審査委員会 東京都新宿区「日本青年館3階「302」	・現地審査の報告 ・各賞の決定	内藤 辰美 他12名	新井 政二 他4名

③ 現地審査

開催日	名称 開催場所	出席者	
		委員	協会
11月26日	NPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション 東京都国立市	栗原 博 榊 誠	川越 進平
11月26日	美麻地域づくり会議 長野県大町市	日高 昭夫	新井 政二
11月29日	特定非営利活動法人 大分人材育成・地域文化交流協会 大分県別府市	岡本 多喜子	峯 佳孝
11月29日	峰山地区コミュニティ協議会 鹿児島県薩摩川内市	内藤 辰美	徳丸 律
12月1日	東沢地区協働のまちづくり推進会議 山形県川西町	盛 浩二	川越 進平
12月1日	特定非営利活動法人 いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取県鳥取市	柴山 直子	藤田 真之
12月4日	特定非営利活動法人いえしま 兵庫県姫路市	山根 誠	峯 佳孝
12月17日	大沢農村振興会 岩手県洋野町	江上 渉	徳丸 律

④受賞団体名簿

賞	都道府県名	団体名	テーマ
内閣総理大臣賞	鹿児島県	峰山地区コミュニティ協議会	コミュニティを生かした共生・協働のまちづくり
内閣官房長官賞	鳥取県	特定非営利活動法人 いんしゅう鹿野 まちづくり協議会	いんしゅう鹿野のまちづくり
総務大臣賞	大分県	特定非営利活動法人 大分人材育成・ 地域文化交流協会	世代と国境を越えた女たちの人づくり、モノづくり、夢づくり
主催者賞	岩手県	大沢農村振興会	理想の農村「アグリ」の建設を目指して
主催者賞	山形県	東沢地区協働のまちづくり推進会議	山村留学から生まれた交流を柱とした協働のまちづくり活動
主催者賞	東京都	NPO法人くにたち富士見台人間環境 キーステーション	コミュニティビジネスによる商店街活性化、地域活性化
主催者賞	長野県	美麻地域づくり会議	住民自治で行こう！一住民自治による市町村合併後の地域経営の取り組み
主催者賞	兵庫県	特定非営利活動法人いえしま	「特産品づくり」からはじめた「島づくり」
振興奨励賞	北海道	弟子屈ユニバーサルデザインプラザ	住んでも来ても楽しいユニバーサルな観光地づくり
振興奨励賞	宮城県	宮城県一迫商業高等学校 商業研究部 地域活性化プロジェクトチーム	地域の魅力を高校生が伝えますー地域活性化プロジェクトによる地域興しの軌跡ー
振興奨励賞	宮城県	あじ朗志組	限界集落が取り組む虐待で苦しんだ子どもたちの「心のふるさとづくり」
振興奨励賞	茨城県	坂下地区みなみ号運営委員会	地域でつくるみなみ号で地域の交流を
振興奨励賞	栃木県	明治コミュニティ推進協議会	新旧住民の融和をはかる地域づくり
振興奨励賞	栃木県	まろにえ21	商店街の力を集めて「止まり木のようなチャレンジショップ」でまちおこし
振興奨励賞	栃木県	特定非営利活動法人 まごの手	お互いさまの気持ちで助け合い活動ー共生のある地域社会ー
振興奨励賞	群馬県	宮田ほたるの里を守る会	もう遅い、いや、まだこれからさ！ ホタルより学ぶ環境。そして地域のきずな
振興奨励賞	群馬県	弁天通青年会	「駄菓子屋」が紡ぐ子どもと地域のコミュニティ
振興奨励賞	埼玉県	川口市プレイリーダー協議会	「アドベンチャープレイパーク事業」と「昔あそびの出前授業」を通しての子どもの健全 育成事業の実施
振興奨励賞	埼玉県	和光市コミュニティ協議会	地元のおじちゃん・おばちゃんがつくるコミュニティ活動
振興奨励賞	千葉県	常盤平団地自治会	常盤平団地における「地域づくり」
振興奨励賞	東京都	東田端まちづくり協議会	【鉄道のまち】を合言葉に、そこに暮らし、勤め、学び、そして訪れる人がともに考える まちづくりを実現します
振興奨励賞	東京都	特定非営利活動法人 Green W o r k s	チャリティーハーブガーデンプロジェクト
振興奨励賞	東京都	ほっと村	食育を通しての地域づくりー都会でむらづくりー
振興奨励賞	神奈川県	NPO法人 楽竹会	高齢者が取り組む住み良い地域づくり・くらしづくり・ひとづくり活動
振興奨励賞	神奈川県	さかえ地域通貨プロジェクト・イタッ チ	地域通貨を活用した地域のまちづくり
振興奨励賞	新潟県	まっと活性化委員会	おいしい田舎まっしぐら【食農まちづくり】
振興奨励賞	新潟県	NPO法人多世代交流館になニーナ	子育てで世代を中心としたメンバーによる震災からの心の復興
振興奨励賞	富山県	三日市大町商店街振興組合	買い物の場から生まれるコミュニティづくり
振興奨励賞	岐阜県	各務原市生活学校	身近な地域活動
振興奨励賞	岐阜県	芥見東自治会連合会	「高齢者の足」を確保し、「活動の見える化」を図った
振興奨励賞	三重県	石樽の里共育委員会	地域と学校の交流と協働により子どもを守り育てる
振興奨励賞	大阪府	特定非営利活動法人ふれあいネットひ らかた	商店街の空き店舗を活用し、子どもの食育を支える地域ネットワークづくり
振興奨励賞	大阪府	NPO法人 南河内こどもステーション	こどもまつりで地域パワーアッププロジェクト
振興奨励賞	兵庫県	北須磨団地自治会	地域のみんなで親林と親農の場づくり
振興奨励賞	兵庫県	八千代堂の宿路の会	人・地域を動かすー堂を通じた地域経営戦略ー
振興奨励賞	鳥取県	特定非営利活動法人くらしのお手伝い よねさと	地域を支えるー高齢者の暮らしの中の困りごとを解決ー
振興奨励賞	岡山県	NPO法人 はっぴいひろば とまと さん家	支えられたり支えたり“はっぴいひろばとまとさん家”のまちづくり人づくり
振興奨励賞	広島県	特定非営利活動法人 あいあいねっ と・フードバンク広島	フードバンクシステムを活用した地域支援活動
振興奨励賞	福岡県	春日ダンボールコンポストの会	今やれる青春 社会への揺さぶり 1年1事業

(2)事例集「あしたのまち・くらしづくり」の発行

規 格	内 容
A4判 106頁 10,000部	「あしたのまち・くらしづくり2010」の発行 あしたのまち・くらしづくり活動賞を受賞した団体の活動記録39編を収録

(3)表彰式及びシンポジウムの開催(「あしたのまち・くらしづくり活動賞表彰式・シンポジウム」)

開催日	開催場所 参加者数	内 容
2月19日	東京都北区 「北とぴあ」 180人	○開会行事 ・主催者挨拶 根本 二郎 (公益財団法人あしたの日本を創る協会会長) ・来賓挨拶 幸田 徳之 (内閣府大臣官房審議官) 濱田 厚史 (総務省地域力創造グループ地域振興室長) 花川 與惣太(東京都北区区長) ○表彰式 ・内閣総理大臣賞 (1団体) ・内閣官房長官賞 (1団体) ・総務大臣賞 (1団体) ・主催者賞 (5団体) ・振興奨励賞 (31団体) ○講演「これからの社会と地域活動の役割」 講師:鳥越 皓之(早稲田大学人間科学学術院教授) ○シンポジウム「無縁社会から絆社会へ～安心して暮らせる地域社会づくり～」 コーディネーター: 内藤 辰美(山形大学名誉教授・あしたのまち・くらしづくり活動賞審査委員長) シンポジスト(順不同・五十音順): 新井 尚恵(墨田区社会福祉協議会) 伊藤 智毅(茨城県日立市塙山学区住みよいまちをつくる会副会長) 早川 悦朗(読売新聞東京本社地方部内信課記者) ○交流のつどい 受賞団体スピーチ等

4. 地域活動に関する各種集会等の開催事業

(1) あしたのまち・くらしづくり全国フォーラムの開催

①開催概要

開催日	開催場所	内 容	出席者		
			講師・委員	協会	参加数
11月16日～17日	東京都渋谷区 「国立オリンピック記念青少年総合センター」	<p>分科会 ○第1分科会「容器包装の削減」分科会 「環境にやさしいお買い物～地域で取り組むごみ減量大作戦～」 (企画・運営:岐阜県生活学校連絡協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題提起「環境にやさしい買い物とごみ減量」 浅野智恵美(環境カウンセラー) ・事例報告 藤波 博(3R活動推進フォーラム) 柳 啓史(イオン株式会社) 鈴木雅巳(岐阜県羽島市市民部環境室長) 野村昭子(岐阜県生活学校連絡協議会副会長) ・全体討議 ①循環型社会の問題点、②容器包装の削減に向けて ・まとめと助言:金森房子(協会理事) ・司会進行:金山富士子(岐阜県生活学校連絡協議会会長) ・全生連:片山靖子(全国生活学校連絡協議会副会長) <p>○第2分科会「広げよう地産地消」分科会 「広げよう地産地消の輪を～生産から食卓まで～」 (企画・運営:大分県生活学校運動推進協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「広げよう地産地消の輪」 大竹道茂(東京都農林水産振興財団・食育アドバイザー) ・事例発表 ①給食畑の野菜を学校給食へ 五嶋昭子(JA大分のぞみ地域本部女性部部長) ②地域の活性化をめざして、生産・流通の確立と消費者との連携 矢羽田正豪(大分大山町農業協同組合組合長) ・全体協議「広げよう地産地消の輪を」 ①消費者・流通・生産者との連携方法 ②地産地消を通じた地域のネットワークづくり ③地場農水産物を学校給食にどう提供するか ④今後の運動方針について ・コーディネーター: 小野ひさえ(大分県生活学校運動推進協議会会長) ・全生連:大内康子(全国生活学校連絡協議会副会長) <p>○第3分科会「子育て支援活動」分科会 「人とのつながりを広げる子育て支援活動」 (企画・運営:新潟県生活学校連絡協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講和:関 良策(あしたの新潟県を創る運動協会副会長) ・事例発表 ①多世代交流館になーな 小池裕子、馬場裕子 ②あおば生活学校 大木和子 ③加茂生活学校 相田祥子 ・グループ討議 ・司会進行:村田洋子(あしたの新潟県を創る協会事務局長) ・全生連:渡辺利子(全国生活学校連絡協議会副会長) <p>○第4分科会「生活学校ルネサンス パートⅡ」研究分科会 「新しい全国運動のモデルを探る」 (企画・運営:全国生活学校連絡協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「活動助成を出すときに、どんな基準で見ているか」 中川大輔(日本財団公益ボランティア支援グループ) ・事例発表「成果が見える活動報告(レジ袋削減枚数設定)」 中原松代(長崎県生活学校運動連絡協議会会長) ・グループ討議(全国生活学校運動を起こすことを前提に) ①全国運動のテーマ、②ネーミング、③実施期間、④具体的なやり方、⑤資金計画、⑥運動の成果をどうやって見せるか ・グループ発表について助言 ・感想:白水忠隆(読売新聞東京本社活字文化推進会議事務局長) 	金森房子 他9人	榊 誠 他5人	350

	○全体会 ○表彰式 ・あしたの日本を創る運動推進功労表彰 ・エイジレス章・社会参加章 ○シンポジウム 「地域でどう取り組む！地球温暖化防止活動」 ・登壇者： 秋元洋子(NPO法人東京都地域婦人団体連盟事務局長) 石川世太(全国青年環境連盟代表理事) 喜納愛子(環境省環境カウンセラー) ・コーディネーター： 金森房子(協会理事)	根本二郎 他8人
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------

②活動目標

第1分科会「容器包装の削減」分科会 テーマ「環境にやさしいお買い物～地域で取り組むごみ減量大作戦～」 (企画・運営：岐阜県生活学校連絡協議会)
<p>「持続可能な社会」を創り上げるために、3Rを推進し、容器包装ごみ減量化や再資源化を図ることは、循環型社会を形成する上で重要な取り組みであり、消費者、企業等及び行政が一体となって進めなければなりません。「容器包装リサイクル法」の改正に向け、提言をすべく、次の行動を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者—家庭から排出されるごみの約6割を占める容器包装ごみを減らすために、身の回りを見直し、地域の情報収集を行い、生活習慣、消費者意識の変化を促すムーブメントを起こします。地域をつなぐリーダーとして、学習を積み重ね、環境に優しい地域づくりに向けて行動しましょう。 ・企業等—ごみを減らす容器、資材の開発、削減の仕組みづくりに取り組みます。地域の消費者とともに、容器包装が削減できるよう、具体的な取り組みを進めます。 ・行政—市民協働で進める継続的な容器包装ごみの減量を推進していきます。地域の意見を反映し、市民、事業者、行政の連携を
第2分科会「広げよう地産地消」分科会 テーマ「広げよう地産地消の輪を～生産から食卓まで～」 (企画・運営：大分県生活学校運動推進協議会)
<p>いま日本では、食料の大半を海外に依存する一方で、農業の担い手不足が顕著であり、市場では規格外の作物は大量に廃棄されるなど、食を供給する力が危ぶまれ、私たちの食を取り巻く状況はますます不安定な状況になってきています。</p> <p>こうした問題を解決するため、本日の分科会では、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」の取り組みについてさまざまな活動方法を学び、私たちの今後の取り組みについて協議しました。</p> <p>そこで地域活動に取り組む私たちの役割として、生産者との交流を通じて「顔が見え、話ができる」関係づくりを続けていきましょう。</p> <p>さらに、地産地消を効果的に広めるために、地域に広くPRすると同時に、行政、他団体、流通業者にも働きかけ、地域にネットワークを広げるように取り組んでいきましょう。</p>
第3分科会「子育て支援活動」分科会 テーマ「人とのつながりを広げる子育て支援活動」 (企画・運営：新潟県生活学校連絡協議会)
<p>今日の日本社会は、物質的には豊かですが、人と人とのつながりが希薄になり、そこからもたらされる様々な問題が多発し、憂慮できる事態が起きています。</p> <p>このような社会背景の中で子育てをする親は、様々な悩みや不安を抱え、行政や地域に支援・応援を求めています。この声に応えて、各地の生活学校や地域活動集団は様々な子育て支援とサポート体制整備に取り組んできました。</p> <p>この分科会では、これまでの活動の上に、「人とのつながり」の視点も加え、その成果を検証し、さらに大きな力にするために、何ができるかを話し合い、次の活動目標を設定しました。</p> <p>「人と人とのつながりは、安心して暮らせる社会の基本です。私たちは手をつなぎ、関係を広げ、深めて、子育てを支えていきましょう。声を掛け、見守り、居場所をつくり、社会力のある子どもを育てていきましょう。」</p>
第4分科会「生活学校ルネサンス パートⅡ」 テーマ「新しい全国運動のモデルを探る」 (企画・運営：全国生活学校連絡協議会)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方自治体の合併、急速な高齢社会の進行など、社会情勢の変化に伴う生活学校の減少が著しい今日、生活学校運動の活性化は私たちにとって喫緊に解決しなければならない重要課題である。 古くから「数は力なり」といわれるように、全生連が社会的な影響力を増すには、新設校の誕生が欠かせない。 各地域のすべての学校がアンテナを高くし、新設校の立ち上げを目指し積極的に取り組まなくてはならない。 2. 昨年の分科会に引き続き、今回は生活学校を活性化するため、全国運動の実施を目指して、テーマ・活動のやり方、活動資金づくり、ネーミング等について具体的な議論を行なった。全国運動の実施は、社会的な評価を得るうえで大きな効果があることをレジ袋削減運動の経験で知っている。 この話し合いを次の全国運動の展開につなげていくため、近い将来全国運動を実施することを目標にプロジェクトチームを立ち上げて今後討議を重ねることとする。 3. 現在の活動資金では全国運動は厳しい。活動資金づくりの議論にも出たように、来春の助成金制度をリサーチし、積極的に応募する。 また、「全生連だより」に広告を掲載してくれそうな企業には積極的に働きかけをする。

(2)ブロック研究集会の開催

開催日	ブロック	場 所	内 容	参加数
9月7日～8日	東北・北海道ブロック	秋田県秋田市 「秋田温泉プラザ」	<ul style="list-style-type: none"> ●9月7日（火） ・開会行事 ・講演「食べものの現場は農業です～広めよう地産地消～」 講師：泉 牧子（秋田県仙北市総合産業研究所 地域資源活用専門研究員） ・分科会 ①生活学校ルネサンス～生活学校の活性化を探る 話題提供：藤原幸子（鹿渡生活学校） 助言者：未定 ②子育て応援分科会～食育推進と地域の連携方策を探る～ 話題提供：山崎純（子育て応援Seed生活学校） 助言者：泉 牧子 ③地域づくり分科会～後継者の育成方策を探る～ 話題提供：伊藤興四郎（秋田県五城目町ふるさとを語る同友会） 助言者：高橋 達（秋田県地域づくり運動推進協議会顧問） ・交流会 ●9月8日（水） ・全体会 分科会報告（各分科会司会者） ・生活学校代表者会議 	80
7月9日	関東甲信越静ブロック	栃木県那須塩原市 「割烹石山」	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「これからの地域活動における連携と協働」 講師：藤本信義（とちぎ協働デザインリーグ理事長） ・環境劇：クロイソエコクラブ（那須塩原市生活学校） ・生活学校代表者会議 ・研修会（ワールドカフェ） 「これからの地域活動における連携と協働」 講師：大石剛史（国際医療福祉大学専任講師） ・交流のつどい 	120
10月7日～8日	中部・近畿ブロック	和歌山県和歌山市 「勤労者総合センター」	<ul style="list-style-type: none"> ●10月7日（木） ・講演： 講師：西川次彦（元あすの和歌山を創る生活運動協議会） ・分科会 ①生活学校ルネサンス 助言者：西川次彦 ②地産地消で地域の活性化 助言者：児玉敏昭（NPOフウドわかやま代表理事 販売促進ディレクター） 実践発表：新古敏朗（湯浅醤油代表取締役社長） 「ユアサの子どもと醤油づくり」 ・交流会 ・代表者会議 ●10月8日（金） ・全体会・分科会報告・代表者会議報告 ・講演「秋津野地域づくりのこれまでと未来への挑戦」 講師：玉井當貴（農業法人秋津野代表取締役副社長） 	156
10月21日～22日	中国・四国ブロック	鳥取県日吉津村 「うなばら荘」	<ul style="list-style-type: none"> ●10月21日（木） ・講演「食のみやこ鳥取県の推進について」 講師：三木教立（鳥取県商工労働部市場開拓局 食のみやこ推進課長） ・分科会 ①楽しく子育てできる地域づくり 事例発表：絵原香織（巖生活学校） 助言者：松本寿栄子（子育てをよくする会「子育て支援ネット」西部代表） ②地産地消に取り組み、食の自給力を高めよう 事例発表：小村のりこ（ふきのとう生活学校） 助言者：三木教立 ③私たちのリサイクル活動 事例発表：田子五月（尚徳生活学校） 助言者：向井哲郎 ・生活学校連絡協議会会長会 ●10月22日（金） ・全体会（分科会報告） ・現地見学 	90
9月9日～10日	九州ブロック	長崎県長崎市 「矢太楼南館」	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者・司会者・助言者打ち合わせ ・各県会長・事務局長・担当者会議 ・基調講演「地域を元気にする街づくり」 講師：菊森淳文（ながさき地域政策研究所常務理事） ・分科会 ①活力と温もりのある地域づくり 助言者：菊森淳文 ②安全安心な食と健康づくり 助言者：平尾真一（長崎県食品安全・消費生活課長） ③循環型社会と私たちの暮らし 助言者：赤木聡（長崎県未来環境推進課長） ・各県特産品の展示・即売会 ・全体会（分科会報告） ・表彰式 	319

(3)運動推進功労者・優れた活動団体の顕彰事業

①あしたの日本を創る運動推進功労表彰

都道府県名	氏名	役職
・内閣官房長官表彰		
秋田県	岩井川 正雄	元岩崎地区自治団体連絡会議理事
東京都	田丸 せつ子	社団法人東京のあすを創る協会理事
静岡県	山本 和子	元静岡県生活学校連絡協議会会長
滋賀県	菅谷 正子	滋賀県生活学校運動推進協議会会長
大分県	大村 正子	大分県生活学校運動推進協議会副会長
・会長表彰:個人		
岩手県	村上 徳也	あしたの日本を創る岩手県協議会前事務局長
宮城県	渡邊 さかい	仙台市中央生活学校委員長
栃木県	大内 康子	栃木県生活学校連絡協議会会長
栃木県	三好 良重	矢板市片岡地区コミュニティ推進協議会会長
千葉県	我妻 みと	船橋市生活学校運動推進協議会会長代行
東京都	久万 千鶴	日野市日野第一生活学校運営委員長
東京都	大木 和子	大田区あおば生活学校運営委員長
富山県	西村 潔	富山県ふるさとづくり連絡会副会長
岐阜県	渡邊 成子	垂井町生活学校代表者
岐阜県	鈴木 啓子	中津川市生活学校会長
静岡県	山本 つや子	掛川市大東生活学校監査
静岡県	五十嵐 恒雄	静岡県コミュニティづくり推進協議会主幹
滋賀県	高島 たま	滋賀県生活学校運動推進協議会副会長
滋賀県	大谷 光子	滋賀県生活学校運動推進協議会副会長
大阪府	中村 卓子	大阪府生活学校運動推進協議会会長
兵庫県	天野 照子	消費者活動セミナー生活学校会長
大分県	江口 千鶴子	豊後高田市生活学校連絡会会長
・会長表彰:団体		
山形県	庄内町余目生活学校	
岐阜県	中津川市生活学校	
兵庫県	川西市生活学校連合会	
長崎県	暖竹会	

②エイジレス・ライフ実践者及び社会参加活動事例

・エイジレス章受章者

都道府県	氏名	活動内容
埼玉県	宮崎 清子 (滑川町生活学校)	滑川町生活学校の代表として、長年にわたり廃油利用石鹸の制作・普及活動など生活に身近な問題に取り組んでいる。特に、平成19年7月より始めた「レジ袋削減キャンペーン」は町役場、町内の婦人団体と連携してマイバック運動を展開し、スタンプカードの全戸配布、町内全商店がスタンプ活動へ参加するなど町をあげてのレジ袋削減運動に広げた。

・社会参加章受章団体

都道府県	氏名	活動内容
宮城県	岩沼市生活学校	平成17年度から子育て支援活動に取り組み、18年度からは岩沼市子ども居場所づくり運営に参加。市が設置する「のびやか教室」にボランティアとして参加し、地域の子どもの健全育成に貢献している。毎週木曜日、午後2時～4時半に、学習アドバイスや食育、紙芝居、昔遊び、しめ縄作りなどの季節行事などを行っている。また、夏休みには子育て支援の安全研修を受けるなど、安全で楽しい居場所づくりにつとめている。
栃木県	押上水神会	押上水神会は、さくら市押上地区において、古文書解読や伝統食文化の「郷土史研究」と、外来植物除去等の「自然保護活動」を行う団体である。特に、平成20年から始まった鬼怒川河川敷におけるカワラノギク事業については、熱心な活動により、わずか2年足らずのうちに関東最大の圃場に成長したことで、マスコミ等でも大きくとりあげられることになった。
東京都	立川ホテルの会 (生活会議)	立川市内を流れる昭和用水・柴崎分水等の流水域の清掃・環境改善運動を実践し、昔のような清流に戻ったらと考え、その証として“蛍”を蘇らせようとフィールド活動を行ってきた。最初の2年間は異臭漂うヘドロ化した用水路に立ち入り、泥にまみれた作業であったが、3年目に“源氏蛍”の羽化・飛翔に成功。現在まで、頭数に増減はあるものの6年間毎年継続して、蛍の飛翔に成功している。